

## 第一章 『ドスケベ変態マダムとの邂逅』

ふうん。孤児院ってこうなってるのね。

狭い部屋に何人の子供が押し込められて、随分窮屈そうだわ。

ま、孤児院側からしたら子供は無償で使える労働力。多ければ多いほど多くの仕事をさせて金を稼げるのだから、一つの部屋に何人の孤児を住まわせるのはある意味合理的かもしれないわね。

おまけに、たまーに私みたいな金持ちが大金持って子供を買っていくんだもの。良い商売よね。まったく……。

さて、どの子にしようかしら。

私好みの子はいるかなあ～……っと。

うん……？

アレ、いいじゃない♡

いいわあ……良い感じに幼くて、男の子なのに女の子みたいな見た目。

あの綺麗なお顔を私のモノでめちゃくちゃに汚せるかと思うと……ああ、マン汁零れてたまらないわ……！

ね、ねえボク……？

おばさんね、君のこと気に入っちゃった♡

君のことを養子として引き取りたいんだけど……どうかなあ？

もちろん、何不自由ない生活を保障するわ♡

毎日おいしいご飯も食べれるし、きつうい仕事をする必要もない。ただおばさんの癒しになればいいの。

どう？ 悪い話じゃないでしょお～？

だからあ……ほら、この書類にサインしてちょうだい？

そうすれば、君は晴れて私の息子……♡

幸せで楽しい毎日が待ってるわあ……♡

うんうん、ありがとお～♡

ちゃあんとサインできたかなあ……？

……うん！ 大丈夫そうね。

さ、荷物を早くまとめて。

孤児院とはバイバイして、一緒におばさんのお屋敷に、行きましょう……？♡

\*

ここがおばさんのお屋敷よ。

そして、今日からここが君のお家になるの……。

ふふ、想像してたのより遙かに大きくてびっくりしたかしら？

ほら、入って入って。屋敷の中、案内してあげるわ♡

\*

ここが食堂、ご飯を食べるときに使うところね。

……っと、まあ、大体普段使うお部屋はこれぐらいかしら。

何かわからないところはあった？

……うんうん、それなら良かったわ。

何もかも孤児院とは違うでしょから、慣れるまではメイドさんを呼んでいきたいところへ案内してもらいたいなさい♡

あら、ふふ……ごめんなさい。おばさん、ちょっとお腹空いちやった。

……ひょっとして、君も？

ふふ、それならちょうどいいし、ごはんにしましょうか。

ちょっとだけ待っててね、すぐにメイドさんがご飯を持ってくるから……うふふ♡

\*

どう？ おいしい？

……そう。気に入ってくれたようでよかったです♡

孤児院にいたときのご飯とは全く違う、豪華なご飯。

ただお腹いっぱいになれるだけでも、君にとっては幸せなのかしら？

あらあら、そんなに急いで食べなくてもご飯は逃げないわよ。ゆっくり、ゆっくり……。

はあ……やっぱり、かわいいわね……♡

早く、ぐちゃぐちゃに汚してやりたいわ……♡

ううん、なんでもないわ。

ほら、ジュースもあるから、遠慮しないでいっぱい食べてね♡

うふふふ……♡

\*

ごちそうさま……ふふ、君はお腹いっぱいかしら？♡

あんなにたくさんあったから、お皿がぜんぶ空になるとは思わなかつたでしょ。

おばさん、ちょっとだけ普通の人よりもいっぱい食べる体質でね。普段からあれくらいの量だったら簡単に食べられちゃう。

だから君が食べ残してたものも、ぜんぶ食べられちゃう。むしろ、私はまだまだ満腹って感じじゃないくらい♡

まあ、その体質のせいで……うふふ、ムチとした体つきになっちゃつたけど……君みたいな男の子は、これぐらいムチムチの方が、好きなんでしょ……？♡

ほおら……おばさんのおっきなおっぱいとお尻、見て……？♡

……あは、どうしたの？

顔真っ赤にしちゃって……もしかして、恥ずかしいの？♡

初心なのね……うふふ、やっぱりかわいい♡

……さて、お腹いっぱいになつてもらったことだし……君には、そろそろ代金を払つてもらおうかしら♡

……なあに？

まさかタダでご飯をもらつたり、寝る部屋がもらえると思ってたの？

ほら、早く払いなさい……♡

……うん？ お金なんて、ない？

あらあら大変。それならおまわりさんに君のことを捕まえてもらわなくちゃ♡

この国のおまわりさんは怖いわよお♡

君みたいなかわいい男の子は躊躇甲斐があるから、きっとひどいことされちゃうでしょうねえ……♡

……それは、嫌よね？♡

……まあ、おばさんも鬼じゃないし、君がどうしてもって頼むのなら、無償で衣食住を提供してもいいの♡

ただし……それには、条件があるわ。

条件は、ただ一つ。

——『私の、性奴隸になること』♡

性奴隸、それが何を意味するか、わかるかしら？

わかんない？ そっか、なら、教えてあげる……♡

私に、エッチなご奉仕をするお仕事よ……♡

私の命令には絶対服従♡

嫌だと叫ぶことも、逃げようとしてもダメ。

私が満足するまで絶対にご奉仕を続けるの……♡

ああっ……そうよね、そんなこと嫌よね、やりたくないよね……！♡

でも、君に拒否権なんて、ないから……♡

お金を払わずに、ご飯食べちゃったもんね……♡

このまま私の誘いを断って逃げたら、君は悪い人として、おまわりさんに捕まっちゃうわよ  
お……♡

ふふ、どうすることもできないの、分かるでしょ？

わかったら、ほら……そこに跪いて、私の足にキスをして、誓ってちょうだい？♡

『ボクはおばさんの性奴隸です』って、かわいい声で頼み込むのお♡

ほらほら、早くう♡

おまわりさん呼んじゃうよお♡

そうそう、じょうずじょうず。そのままゆっくり、私の足に唇を近づけて……♡

……～～ッ！♡

あはっ、キス、しちゃったね……♡

ほら、早く誓いの言葉を言ってよ♡

ほおら、ね？♡『ボクはおばさんの性奴隸です』♡さん、はい？♡

……～～ッ♡かわいいわあ……♡素敵……♡

……じゃあ、私の性奴隸になった証拠として、禊をしましょうか……♡

ん、ふふ……何をするか、気になるの？♡

いいわ、教えてあげる……♡こうするの、よっ！♡

君を、スカートの中に閉じ込めてえ……えいっ！♡

ふふ、ああっ、たまんなあい……♡

おばさんのアソコ、君のお口に押し付けちゃったあ……♡

スカートの中、ただでさえ私の臭いが充満してムレムレなのに、マン汁だだ漏れのおまんこ  
を押し付けられちゃって……♡

あは、吸う空気が全部雌臭まみれで頭くらくらするでしょ……♡

君、かわいすぎるんだもの……おばさん、ずっとマン汁こぼれっぱなしだったわ……♡

ああっ、必死でもがいちゃって……♡そんなことされたら、もっと興奮しちゃうじゃない  
……♡

こおら、暴れちゃダメよおッ……うふふ、抵抗するんなら……こうやって……！♡  
無理やり君のこと、従わせてあげる……！♡  
お顔を掴んでえ……えいっ！♡ぎゅむ～～ッ！♡

うふふ、抵抗してもむ～だ♡  
私のマン肉で口塞がれて、呼吸できなくて苦しいでしょ♡  
あはっ♡やっと空気を吸えても、蒸れたマンカスの匂いがダイレクトに伝わってきて頭が  
おかしくなりそう♡  
これがおばさんのマンコの臭いよお♡  
よおく覚えなさあい……あはははははっ！♡  
ほおんと、かわいいわあ♡  
もうちょっといじめちゃおうかしら？♡えいっ、えいえいっ♡  
……あら？♡  
あらあら？♡  
あらあらあら♡  
おちんぽ、ビンビンじゃないの♡  
ショタチンポにおばさんマンコは刺激が強すぎたかしら？♡  
かわいくって小さなチンポ、必死に大きくしちゃって……♡  
まさか、無理やりおまんこ押し付けられてるのに欲情しちゃうなんて……偉い子ねえ♡  
なでなでしてあげる……♡

ーーっ、お“っ、やべ……うふふ♡  
なんだか、催してきちゃったかも……♡  
マン臭でチンポ勃起させるいい子には、きちんとご褒美をあげないとねえ……！♡  
ほおらッ、もっと顔押し付けて、口開け、なさいっ……！♡  
自分からやらないとっ……！♡無理やり押し付けて、窒息させちゃうわよ……！♡  
はい、あーんっ……♡ほら、お口をぱっくり開いて……♡  
～～っ、いい子ね……私の言うこと聞ける子は、好きよ……！♡  
その調子で、大きくお口を開いてなさい……途中で閉じたりしたら、ひどい目に会わせるわ  
よ……！♡  
あ～、でるでるでるッ♡くっさいションベンでるう……♡  
かわいいいショタのお口トイレにして、おしつこでちゃううつ……！♡  
ーーん、おお“お“お“ツ……♡

(放尿)

ああっ……！♡気ン持ちいい～……！♡  
ショタのおくちトイレ、さいっこお……♡  
ふふ、我慢してたからすっごい量出てる……♡どう？ おばさんのおしっこのお味は  
……♡  
ほおら、まだ出るから、しっかり飲みなさい……♡  
ほら、ほらほらほらあ♡  
ちゃんとおばさんのおしっこ飲んで♡  
喉鳴らして飲んでえ♡  
こぼしたりしたら、承知しないからね……♡  
あはっ、そうそう♡いい感じよ♡ほおら、最後の一滴まで、ちゃあんと飲めっ……！♡  
ふふ、ふふふふふっ♡

はあ……気持ちよかったです……♡  
ふふ、お利口さん♡よしよし、頑張って私のおしっこ全部飲めたわね♡えらいえらい♡  
ほら、じゃあ今度はきちんとおまんこ舐めて、綺麗にして……♡お利口さんなら、できるよ  
ねえ……？♡  
……あら？  
気、失っちゃってる。ちょっと激しくしすぎたかしら？♡  
ま、今日はこのへんで許してあげる♡  
続きはまた今度、しましょう♡

たあっぷり可愛がってあげるから、覚悟してなさい？  
うふふふ……♡

## 第二章 『ドスケベ変態マダムの秘密の調教』

おはよう、よく眠れたかしら？

あらあら、そんなに飛びのいて逃げなくてもいいじゃない♡

おばさん傷ついちゃうわ♡

うふふ♡今日もたっぷり性奴隸として私にご奉仕してもらうから、心の準備をしておくことね♡

ほおら、朝食よ♡たっぷり食べなさい♡

それじゃ、おばさんは部屋でお仕事をするから、何か欲しいものとかがあったらメイドさんに言ってちょうだい♡

君がおばさんの従順な奴隸として従っているうちは、たっぷり可愛がってあげる……♡

あ、そうそう……うふふ♡

食事を終えたら、私の部屋に来なさい♡

昨日みたいに、私の奴隸としてたっぷりご奉仕してもらうから……うふふふ……♡

\*

あら……？♡

てっきり抵抗して来ないかと思ったんだけど……うふふ、大人しく自分の足で来たのね、いい子だわ……♡

抵抗しても無駄だと分かってるからかしら？

それとも、昨日のことが、忘れられないのかなあ……？

まあ、どちらでもいいわ。大事なのはちゃあんと来てくれたって事実だもの♡

ほら、こっちにおいで♡これから君に何をしてもらうのか説明するから♡

実はねえ、一時間ぐらいしたらこの部屋に客人が来るの。

大事なお客様よ。失礼があっちゃいけないわ。

でも、ねえ……ちょっとだけ、問題があってえ……うふふ……♡

——ん、ッ！♡

(放屁)

あはあ♡くっさあい……♡

おばさんねえ、今朝からちょおっとお腹の調子が悪いのぉ♡

だからちょおっと気を抜くと、ぶう～ッ♡ってオナラが出ちゃって……♡

お客様は女性で、しかもとても高貴な方なの。そんな方に私のオナラの残り香なんて、絶対に嗅がせるわけにはいかないでしょう？♡

そこで、君の出番♡

君にはあ……うふふ、おばさんが出したオナラをぜんぶ吸ってもらいたいの♡

もちろん、外に臭いが漏れないように、ケツ穴に口づけて、直接オナラを吸ってもらうわ♡

そのためにい……ほら、特注の椅子まで用意したの♡

椅子の座るとこの真ん中に穴が開いてて、ここにお顔を固定するの♡

もちろん、逃げられないように手足を椅子の足に固定するベルトもついてるわ……♡

うふふ……素敵でしょ？♡

……おっと、逃げようとしても無駄よ♡

メイドさん、この子を椅子に取り付けてちょうどい♡あ、そうそう、服もついでに脱がしちゃって♡

ほおら、暴れない暴れない♡君は、大人しく私の椅子になるのっ！♡

完成～♡

うふ、うふふふ……！♡

素敵よ、とっても素敵……！♡全裸で縛り付けられて、お顔は私のお尻を待ってるの、たまらないわあ……♡

せっかくだし、写真も撮っておきましょうか……♡

うふふ……この写真だけでマンズリできるくらい、下品で素敵よお♡

でもお……椅子は見るものじゃなくて、座るものだもの♡

早速、座り心地を確かめてみようかしら……♡

愛液でびっしょりの下着なんて、履いてる意味ないから脱いじゃいましょう♡

君も、おばさんの生尻味わえる方が、嬉しいでしょう？♡

ほおら……おばさんのでっかいケツが、ゆ一っくり落ちてくるわよ……♡ほら、ほらほらあ……♡

逃げないとペちゃんこにされちゃうわよお♡

ほらほらほらほらあ……さあん、にいい、いいちつ……♡

せえのっ……どっ、すう～ん♡

はあ～……♡最っ高……♡いい座り心地よお♡かわいい人間椅子くん♡

うふふ、そんなにビクビク震えちゃって、どうしたの？♡

私のデカすぎるお尻が、君の顔を押しつぶして、息ができなくなっちゃったのかしら？♡

そ・れ・な・らあ……おばさん特製の空気吸って、呼吸しなさあい♡そお……れっ！♡

(放屁)

あはははははっ♡ほおら、吸いなさい？♡  
おばさんのオナラ、外に漏れないように全部吸い込むのお……！♡  
そうそう、その調子……！♡いい子ねえ♡  
それじゃ、もっと勢いよく……ッ、ぶう～～～～～～ッ！♡

(放屁)

お~ ッ♡くっさ♡  
ちょっとお、臭い漏れてるわよ？♡ほらほら、ちゃんと吸わないとダメじゃないの♡  
あ~くっさ♡臭すぎ♡発酵臭やっぱ……！♡  
こんなのずっと嗅いでたら頭おかしくなっちゃうわねえ♡  
あらあら、身体びくびくして、このままじゃ気絶しちゃいそうねえ♡  
それじゃあ気付けに、もう一、発っ！♡

(放屁)

うふふ、起きた起きた♡気絶しても無駄よお♡その度にくっさいおならで目え覚ましてあげるから♡  
ほらほら、まだまだ出るわよ♡しっかり味わいなさい……！♡  
ふんっ！♡んッ！♡んおおッ！♡

(放屁)

ほおら、吸え……♡ちやあんとおばさんのオナラ嗅げ……！♡  
君のお鼻に肛門擦りつけて……ふんっ！♡

(放屁)

ああっ、たまんなあい……！♡  
うふ、抵抗できなくされて、オナラでいじめられて、惨めよねえ……！♡  
でも、そんな惨めな君のこと、おばさんはだい好きなお♡  
ほらほら、お顔にマンコと肛門擦りつけてあげるっ……！♡  
今の君は人間じゃないのっ♡私の椅子っ！♡だから大人しく、オナニーの道具になって、ね  
えっ！♡

(放屁)

ああいくっ！♡イっちゃうわあ……♡  
君のお顔でオナニーするの気持ちよすぎッ……♡  
オナラ嗅がせて、マンズリして、思いっきりイっちゃうのお♡  
あ～～もう我慢できないっ、イグッ、いぐいぐっ、いっぐうッ！♡

(絶頂、放屁、放尿)

あ～～……♡ごめんねえ……♡気持ちよすぎて、オナラと一緒に、おしっこも出ちゃったあ  
……♡  
ほら、おばさんのションベン、ちゃんと全部飲みなさい……♡  
うふふ……そうそう、喉鳴らして飲むの……上手上手……♡  
これじゃ、君は椅子じゃなくて便器ね♡  
君は今日からあ、性奴隸じゃなくて肉便器……♡  
おばさんが催したら、その度にお口を開いてぜんぶ受け止めるのお♡  
ん～……？♡  
どうしたの？ 必死でもがいて……♡  
おばさんの便器になるの、嫌なの？  
うふふ……それならあ……ほら、必死でご奉仕して、許しを乞いなさい♡  
ほら、何ぼーっとしてるのよ♡おしっこで汚れちゃったマンコ、綺麗にその舌で舐めとりな  
さい♡  
そうしたら、肉便器にするのだけは勘弁してあげる♡  
ほらほら、早く舐めないとぉ……んんっ！♡

(放屁)

君のこと、ほんとに肉便器にしちゃうよお？♡  
おならとかおしっこなんかよりももーっと凄いの、君のお顔にぶちまけちゃおっかなあ…  
…？♡  
おばさんのクソはねえ……うふふ♡  
普通の人のよりも数倍おっきくて、くっさいんだから……そんなの顔面にぶちまけられた  
ら、一体どうなっちゃうんだろうねえ♡  
ほら、それが嫌ならさっさとおばさんのおマンコ舐めて♡ね？♡  
うふふ……そうそう、素直が一番……♡  
んお、ああ……♡気持ちいいわあ……♡もっと奥までえ……んんっ♡

いい子いい子……♡そのままじゅぼじゅぼ音立てて、一生懸命おばさんのマンコ掃除するのぉ……♡

あっ、んふふ……♡そうそう、その調子い……♡

ほおら、早く綺麗にしないとぉ……えいっ！♡

(放屁)

あはははっ♡くっさ♡

おならもちゃんと嗅がないとダメじゃないのぉ♡

ほんとにおばさんのデカ糞、君にぶちまけちゃうよ？♡いいのぉ？♡

ほおら、もっと激しく、音立てるように吸い付きなさいい……！♡

そうそう、上手よぉ……♡うふふ、あへきもちい……すっご……♡

おーっ、また屁てるっ♡ほら、今度はちゃんと吸うのよぉ……ふんっ！♡

(放屁)

んっ、んっ、んんっ……！♡んおおっ……！♡

うふふ、くっさいオナラ連発♡ほおら、まだまだ出るわよぉ……！♡お尻に力入れてえ……んぐうっ！♡

(放屁)

はあ～♡気持ちいいわあ♡

おまんこ掃除させてオナラひり出すのさいっこぉ♡

今度はちゃんと全部吸えたのね♡偉いわ♡

でもお……うふふ、ダメじゃないの♡

おまんこはまだビシャビシャ……♡

もつともお~っとおまんこくぱあって開いて、舌ねじ込んで、中まで綺麗にお掃除しないとお……うふふふふ♡

んぎゅっ♡舌はいってきたあ♡

ああすごっ♡ほら、舌を出し入れして、ずぼずぼするのっ！♡早く、早くしてっ！♡

おほっ♡おほお♡舌ピストンしゅごっ♡舌が動くたびにおマンコずりゅずりゅ擦れて、感じちゃうう……♡

んっ、あ、んふう～ッ！♡

(放屁)

きもち、よすぎてっ！♡オナラ止まらないわあ♡

ああだめえ♡どでかいのも、一緒に降りて、きたあ♡んぐっ♡このままじゃ、出ちゃう、かもおっ♡

ほおら、もがくなっ、抵抗するなっ！♡

きちんとおまんこ掃除できなかつたでしょ？♡

だから罰として君はあつ、おばさんのウンコ、そのかわいいお顔で受け取るのおつ♡

ほおら、嫌ならもっとマンコほじれっ♡がんばれっ♡がんばれっ♡うふふふ……！♡

あ～♡ぜんぜんだめえ♡お掃除下手だねえ♡マン汁こぼれちゃってるじゃないのぉ♡

こんなんじゃ、罰を与えるしか、ないわねえ……ふんっ！♡

(放屁)

あ～出るっ、ウンコ出るっ！♡

ケツマンコひくひくしてゐるの、わかるかしら？♡

ほら、もうすぐ出てくるわよお♡でっかくて、くっさいうんこお♡

さあ、便器としての役割を、全うしなさあい♡

んっ、んんんっ！♡でるでるでるでるっ！！♡

クソが出るわあ♡ショタの顔面にぶつといクソひり出して、イ、ぐウ……ッ！♡

ケツ穴、めくれてえ……♡ん、お` おおおッ！♡

(脱糞 絶頂)

ああ～♡ウンコとまんなあい……♡すっごお……♡

ショタ便器、詰まらせちゃうわあ……♡おほっ、んぐう……！♡

量も凄いけど、臭いもお……すんすん……すっごおい♡

はあ、たまんないわあ……♡

おほっ……ほら、まだまだ出るわよお……！♡ほら、しっかり受け止めな、さいい……！♡

うふふ♡おばさんのくっさいクソぶちまけられて、どんな気分なのかしら？♡

全身震えさせて気絶してゐるから、きっと聞こえてないでしうけどねえ♡

(射精)

……あら？♡

うふふ……なあんだ、ちゃんと聞こえてるじゃないの♡

射精してお返事だなんて、いい子ねえ♡そんないい子には……んッ♡

(放尿)

ほおら、おばさんのおしっこのおかわりよお……♡

うふふ、ああ、すっきりしたわあ……♡

ずっと夢見てたショタ便器、やっぱり最高ね♡これからもいっぱい使わせてもらうことに  
するわねえ……うふふ♡

さて、片付けはメイドさんに任せて、私はお客様のところへ行こうかしら。

やっぱり小さい子は素直でかわいいわ♡私個人の部屋に客人を招くわけないじゃないの、  
おばかさん♡

でも、ますます愛おしくなったわあ♡最後まで耐えたご褒美に、一緒にお出かけして何か良  
いものでも買ってあげましょうか♡

それじゃあね、私のかわいい、肉便器くん♡

### 第三章 『ドスケベ変態マダムの野外脱糞』

あ、起きた起きた♡  
おはよう、肉便器くん♡  
おかげさまで、昨日はとおっても楽しかったわ♡  
だからあ……うふ、ご褒美として、おばさんにご奉仕するお仕事、今日はお休みにしてあげる♡  
一日ごろごろしてもいいし、遊びに行っても良いわ♡  
で・もお……うふふ、もしおばさんと一緒にお出かけしてくれるのなら、おばさんが君の欲しいものなあんでも買ってあげる♡  
おもちゃだって、好きなだけ買ってあげるわあ♡  
どう？ 魅力的でしょう？♡  
好きにしたらいいわ。君に選ばせてあげる♡  
おばさんとお出かけするか、自由な時間を楽しむか♡  
君は、どっちがいいのかなあ……♡

やったあ、そう言ってくれると思ったわ♡  
私は先に準備して玄関で待ってるから、君はメイドさんにお洋服着せてもらいなさい♡  
それじゃあまたね♡うふふふ……♡

\*

さ、着いたわ♡  
ここならきっとお菓子でもおもちゃでもなあんでもあるでしょう♡  
さ、おばさんの手握って、一緒に歩きましょう？♡

それにしても……うふふ、やっぱり似合ってるわ♡その服装♡  
初めて君に出会ったときに着てたボロボロの服とは大違い♡  
すーっと可愛くって、素敵よお♡君のかわいさが倍増しちゃってる♡  
さ、ほらほら♡遠慮しないで何が欲しいか言ってちょうだい？♡  
……あら、そんなものでいいの？♡うんうん、わかった。それじゃ一緒にお店、行きましょうか♡

\*

はあ、楽しかったあ♡

君が欲しいものぜんぶ買ったから、紙袋持つのも大変ね♡

(囁き)

……うふふ、ちゃあんとおばさんにご奉仕できたら、またこうやってお買い物に連れて行ってあげる♡

だから頑張ってご奉仕、しましょうねえ♡

(ここまで)

あ、そうだ……！

ねえ、せっかくだし、今日は出店で晩ご飯を済ませちゃいましょう♡

ほんとはおばさんみたいなお金持ちは買い物なんて下品なことしちゃいけないんだけど

……今日は特別♡

君に美味しいものいっぱい食べさせてあげたいもの♡

……と、いうか、ホントのところを言うと、おばさんが食べたいだけなんだけどね♡うふふ  
……♡

さ、行きましょ♡

\*

はあ、おいしい……！

上品に味付けされた料理も素敵だけど、こんなジャンキーなものもまた美味しいのよねえ  
♡

ほらほら、君も食べてみて、すっごく美味しいわよ♡

……もうお腹いっぱい？

え～、おばさんはまだまだ食べたりないよお。あむっ……もぐもぐ……ああ、美味しい…  
…！♡

うん、やっぱり食べたりない！　もっと買ってくるから、君はここで待っててちょうだい！

\*

はあ、お腹いっぱい……♡

ほら見て、おばさんのお腹、一杯食べたからぽっこりしちゃってる……♡

ああ、幸せえ……♡満腹になるまでご飯を食べるのって、どうしてこんなに幸せな気分になるのかしら……♡

で・もお……うふふ、もっと幸せな気分になるのは、これからあ……んん……！♡

(腹痛音)

おばさん、代謝がいいからあ……♡うふふ、すぐにウンチしたくなっちゃうのお……ッ！♡  
あ～、やばいっ、早くトイレ、行かないと……ッ♡うんち、漏れちゃうう……んッ！♡

(放屁)

だめっ、少し気を緩めたら、すぐにオナラがでちゃうわあ……！♡  
近くにトイレあっても、これじゃ、間に合わないかもお……！♡  
あッ！♡

(放屁)

あ～やばいい……ホントに、漏れちゃうう……！♡  
なんとか、しないと……！  
あ……そうだ……♡

ね、ねえ、この空の紙袋持って、私のスカートの中に入ってちょうだい……！♡  
大丈夫、このスカートなら、中に人がいても、バレないから……！♡  
ほら、早く……！♡

ちゃんと、入れたかしら……？♡  
じゃ、じゃあ下着、脱がして……！♡  
何のために、って……そりゃあ……♡  
その紙袋で、うんこ受け止めてほしいからよ……♡  
公共の場で野糞なんて、できないでしょ……？♡  
こうすれば、他の人からは普通に立ってるだけに見えるし、うんこもできる、からあ……  
ッ！♡

(放屁)

うおつ、くっさ……♡  
臭いと音だけは、どうしようもない、けどお……人も少ないし、騒々しいからきっとバレないはず……！♡  
ほらっ、早く、早く脱がしてっ！♡うんこ出ちゃうからッ！♡

(下着を脱がす)

(放屁)

あ、ああ、思わず、おならが……！♡

そうよね、ロングスカートの中、おなら臭が充満してキツいよね……！♡

ちゃあんと我慢出来たら、またご褒美あげるから……どうか耐えてちょうだい……！♡

ああっ……君の息が、私のお尻にあたってる……！♡

それも、どんどん息荒くなって……もしかして、興奮、してるの……？♡

……わかったわ♡ほら、君もズボン脱いで、チンポ扱いちゃいなさい……♡

どうせ見えないんだから大丈夫よ……♡ほら、シコシコ、シコシコ……♡

……なんて、背徳的のかしら……♡

公衆の面前で片方は脱糞して、片方はオナニーだなんて……♡

こんなのが見つかったら、二人とも終わりなのに……♡んん……っ！♡

(放屁)

頭おかしくなるくらい、エッチな気分になっちゃってるぅ……♡

ね、ねえ……おまんことお尻の穴、舐めて……♡

君ばっかり気持ちよくなつて、ずるいわ……♡おばさんも、気持ちよくなりたいのお……♡

んひッ！♡ああっ、嬉しいいっ♡偉い、偉いわあ♡ちゃあんとおばさんの言うこと聞けて、いい子お……♡

んッ、おッ、おお～ッ！♡

ああっ、すごい……！♡自分から舌、入れてくれるなんて……！♡

あっ、出るっ、気持ちよすぎて、おなら、出ちゃううッ♡

(放屁)

ほら、もっと、奥まで、ほじってッ……！♡

ああッ、すごい、おッ、おお～ッ！♡

一一ッ！

あっ、ああっ、待ってっ、止めてっ、ストップ！♡

や、やばい、かも、あそこにいる人、おばさんの、お客様で……！

おばさんに気付いて、こっちに来てるぅ……♡

だ、だから、ダメ。今はダメ、おばさんも、頑張っておなら、我慢するからあ……♡

で、でも……もしも、出ちゃったときは……バレないように……臭い、お願ひね……？♡

こ、こんばんわ。クリス様……。

お久しぶり、ですねっ……ん、ぐう……♡

お連れ様は、奥様でございますか……？

あ、ああ、愛人。

はあ、はあ……ッ、そ、それはそれは……。

……顔色が、悪い？

そ、そうでしょうか。いたって、身体に不調、はあッ！♡

(放屁)

あ、ああ、ありません、ので。

ご心配いただき、ありがとうございます……！

へっ？ な、何か音がした？

いえ、そんなことは……何も聞こえませんが……！

と、特に何か妙な臭いも、しませんし、聞き間違い、ではあ……？

んぐっ！♡

(放屁、腹痛音)

や、やば……ッ、んう……ッ♡

あ、あの、例の件は、どうなったのでしょうか……？

そう、あの、クリス様の邸宅の水道が、壊れてしまったと、いう……！

このままだと、漏れてしまう、とかで、早急に栓をしたい、と、話を聞きましたが……！

そ、そう、栓、栓です！ 漏れるので、穴に、何かで栓をお……ッ♡

(放屁)

そ、早急に、助けを求めている、とかで、その、指とか、で、漏れる穴に、栓を、してほしい、とお……！

んひっ！♡そ、そうっ、そうですっ！♡そのままぁ……♡

ッ…はあ……♡

心当たりがない、ですか、そうですか……♡  
い、いえっ、勘違いでした。  
なんでもないんです、本当に、何でもないんですよ……！♡  
あ、ああ、この後、ご愛人様と一夜を過ごされるのですね……？♡  
その際はぜひ私も私めの製品を、またご利用ください……♡  
ええ、では、ご機嫌うるわしゅう……♡

行った、かしら……？  
ああっ！  
よくわかってくれたわねえ！♡偉い偉い！♡  
そうよ、そうそう♡本当に漏れちゃいそうだったから、ケツ穴に指をつっこんで栓をしてほ  
しかったのぉ！♡  
ほんとに偉いわ……オナラの臭いもちゃあんと全部吸いこんで……♡  
これはまたご褒美をあげないといけないわね♡  
さ、さあ……♡私のかわいい肉便器として、最後の役目をはたしてちょうどいい……♡  
ほら、指、もう抜いても大丈夫よ……しっかり、漏れないように締めとくからっ……♡んん  
ッ♡

それと……うふふ♡  
あそこの路地裏、今は人気ないし、あそこなら好きなだけ喘いでも、問題なさそうよね……  
♡  
便意も少し落ち着いてきたから……うふ、場所を、変えましょうか……♡

\*

やっぱり、ここなら誰もいないわね。  
さ、早く紙袋の口、ちゃんと私のケツ穴にあてがってちょうどいい……♡  
そうそう……！  
それで、君は頑張ってチンポシコシコするの……♡  
おばさんがウンコぶちまけるタイミングで、一緒にいたら、きっと気持ちいいわよお  
……？♡  
うふふ、そうそう、シコシコ、シコシコ……♡  
手の動き、早いわねえ♡ひょっとしてもうイきそうなのかしら？♡  
それなら都合がいいわあ♡おばさん、もおッ♡

(放屁)

もう、限界でッ……ウンコ、出ちゃいそうなのぉ♡いっぱい我慢したから、その分でっかいの、ぶちまけちゃうわよぉ♡

あ“ あ～ぐるッ、くるう……！♡ウンコ、降りてくるッ……！♡

いくわよっ！♡おばさんのウンコが出てくるとこ見て、盛大にイキなさあい♡んんんッ……！！♡

ああっ、出るッ、出る出る出る出る出るッ！♡ぶつといウンコ、出るう～～～ッッ！！♡

(脱糞 射精)

お“ おお～ッッ！？♡

肛門捲れて、おばさんの極太一本グソでてるう～ッ！♡

イグッ、うんこひり出してイっちゃってるのぉッ！♡おおッ♡おお～ッ♡おお～ッッ！！♡

ああッ♡すごいい♡すごいい♡気持ちいいの、止まんないいッ♡お尻の穴、気持ちいいのオ～ッ！♡

おおッ♡おっ♡おおッ♡おほっ♡野太い声で喘いでっ、糞ぶちまけて、またイグッ……！♡んぐ、おほおおお～ッッ！！♡

(脱糞)

たっぷり我慢したぶん、すっごいのてるうッ！♡

ぶっとくてくっさくてえ、何よりもおっても下品なデカ糞お♡

あ“ 一ッ♡ぎもちいいっ♡おおおおおツッ！♡

こんな、ところでッ、うんこだなんて……ッ！♡いけないこと、なのにい……！♡

それが気持ちよくてたまんないのぉッ！♡

見てッ、もっと見てッ、おばさんがうんこするとこ見て、もっともっと射精しろおッ！♡

ああ、イクっ、またイッちゃうう♡

んオ“ おお～ッ！♡

(絶頂)

\*

はあっ、はあっ……♡

スッキリしたわあ……♡  
んッ……♡すっごお……♡  
紙袋、おばさんのウンコでいっぱい……♡  
こんなに出したの、久しぶり……♡  
臭いも、凄いわねえ……ザーメンぶっかけられたせいで臭いが交じり合って、とってもエッチ……♡  
うふふ、まさか本当にウンコで射精してくれるとは思わなかったわ♡

君、自分がしたこと、分かってる……？  
君は、おばさんがウンコするどこ見て射精したの……♡  
おばさんにご奉仕するのあんなに嫌がってたのに……まさか自分からオナニーして、こゆういミルクどぴゅどぴゅしちゃうなんて……ホント、ド変態よ♡

さて……この紙袋、どうしましようか♡このまま放置しておくわけにもいかないし……♡  
……このまま、持って帰っちゃおっか？♡  
大丈夫よ。夜遅いから人はもうほとんどいないし、来た時と同じようにおばさん専用の馬車に乗れば問題ないわ♡  
そ・れ・に・い……♡

君、このウンコ欲しいんでしょ？♡  
わかるよお、だってさっきイッたばっかりなのに、これを見ただけでもうおっさくして……♡

おばさんの言いたかったことちゃあんと悟ってくれたご褒美に、ウンコたっぷり詰まったこの紙袋はあ……うふふ、君にプレゼント♡

臭いを嗅ぐのも、見ながらオナニーするのでも、もーっとすごいことでも……好きに使っていいわよ♡

もちろん、欲しくなければ別のご褒美を用意するけど……どうかしら？♡  
……うふ♡そうよねえ♡欲しいよねえ♡  
うんうん、いいよ♡  
それじゃ、ちゃあんと持って帰りましょうね♡うふふふ……♡

## 第四章 『ドスケベ変態マダムの便秘解消ケツハメセックス』

ふう、お仕事疲れたわあ……。

さあて、今日も肉便器くんに癒してもらおうかしら……って、あら？♡

あの子の部屋から、何か音がするわね……。

ぬちゃ、ぬちゃって、とってもエッチな音……♡

ひょっとしてえ……うふふ♡

部屋、こっそり覗いちゃお……♡

……ああ、やっぱりオナニーしてるう♡

しかも、私の出したあのウンコをオカズにして、あんなに興奮しながら夢中でシコシコして  
る……！♡

可愛いわねえ……♡私のウンコに調教されて、すっかり変態さんに堕ちちゃったのね  
……♡

ああっ、こんなの見せられたらムラムラして、どうしようもなく身体火照っちゃうじゃない  
の……！♡

こんばんは……♡

……んふふ♡どうしたの、そんなに慌てて……♡

……あら？♡

あらあらあら？♡

これってえ……んふふ、私のウンコよねえ♡

それにい……君、おちんちんすっごく大きくして……♡

こっそり、ナニを、してたのかな……？♡

ねえ、教えて……♡

何をしていたのかしらあ……♡

お姉さんのウンコを見つめて、息荒げて……♡

……誤魔化そうとしても無駄よ♡

オナニー、してたんでしょ♡

おばさんがウンコひり出すとこ思い出しながら、おちんちんを必死にシコシコ……うふふ、  
惨めねえ♡

この屋敷に来たころとは大違い……今じゃすっかり、変態さんね♡

……本当に、しようがない子♡

ほら、こっちに来なさい……♡  
もっと。もっと近くに寄って……♡  
えいっ！♡

んふふ……！♡  
君のこと、押し倒しちゃった……♡こうやって、馬乗りになってえ……動けなくしちゃえば、  
もう逃げられないわあ！♡  
変態さんになっちゃった君に、私が特別なお仕事をさせてあげる……♡何だかわかるかし  
らあ……♡  
……ヒントは、ここ♡  
おばさんのお腹、触ってみてえ……♡  
やん♡ムチムチのお腹つままないでよお♡  
ほら、ヒントはもっと奥……♡お肉の下に、何か硬いものがあると思わない……？♡  
うふふ、わかったみたいね♡  
……じゃあ、答え合わせ。  
実はおばさんね、最近ちょっと便秘気味なの……♡  
だから、お腹の中に大量のウンコがぎっしり……♡  
紙袋をいっぱいにしたあのウンコなんかかわいいものよ……あれよりももっともっと大き  
なウンコが、このお腹の中に眠ってるの……♡  
でも、そろそろ本当にきつくなってきてえ、正直、そろそろ出しちゃいたいな、って……♡  
そこで、君の出番♡

おばさんのケツ穴ほぐして、うんこひり出せるよう浣腸してくれないかしら……♡  
わかるでしょ……？♡  
君のこの勃起チンポ……これをおばさんのケツ穴にぶちこんで、ザーメン浣腸するのぉ…  
…♡  
どう？♡  
したい？♡  
おばさんと、便秘解消ケツハメセックス……！♡  
おばさんのケツ穴犯して、精液どびゅどびゅしたい……？♡

……うふふ、よく言えました♡  
あらあら♡チンポさらに硬くして……興奮してるのでしら♡先っぽからおつゆも垂らしち  
ゃって……♡  
でも、まだだあめ♡まだしてあげない♡  
お尻の穴はデリケートだもの♡チンポはしっかりぬるぬるにしないと♡

だか、らあつ！♡

おまんこから溢れた涎で、チンポ濡らしてあげるッ……♡

ズリ、ズリッ……ぐちゅ、ぐちゅッ……♡

ほら、気持ちいいでしょ……？♡柔らかあいおまんこが、君のチンポに擦りつけられてるの、わかる？♡

んふふ♡おばさんの陰毛がくすぐったい？♡

ケツ毛もマン毛も放置してるからしょうがないでしょ♡

ほおら、そんなことより、君も頑張っておつゆ出して♡

マン汁とチンポ汁でコーティングしちゃいましょ……♡

ぬるっ、ぬちゃ、ぐちょっ……♡

ほおら、腰振って擦りつけるのっ……！♡

いち、につ、いち、につ……！♡

あはっ、腰振り下手ねえ！♡

必死に腰振っちゃって……みっともないけど、とっても素敵よ♡

ご褒美につ……ふんッ！♡

(放屁)

あはっ！♡チンポ跳ねたあ♡

あつついガスぶっかけられて、チンポ嬉しそうねえ♡

それじゃ、もういっ、ぱつ……ッ！♡

(放屁)

うふふ♡また、ビクンってしたあ……♡

これ以上やっちゃうと、交尾する前に射精しちゃいそうね……♡

それでもいいけど……うふ♡今日は一滴たりとも無駄にしたくないもの♡

このあたりで勘弁してあげる……♡

でも……オナラの効果はばつぐんね♡チンポから涎だらだら垂らして、もうすっかり準備万端♡

ねえ、そんなにおばさんとケツハメしたいの？♡

じゃあ、ちゃんとおねだりしなさい……♡

おばさんのクソ穴で僕の童貞食べてくださいって、言うの……♡

そうすれば、この私のデカケツを、君専用のチンポケースにしてあげる……♡

ほら、言って？♡

おねだりして？♡

おばさんのクソ穴で、僕の童貞食べてください。さん、はい……？♡

……～～ッ！♡いい、いいわあ♡

その言葉を待ってたのぉ♡お尻の穴がキュンってなっちゃったあ……♡

君のおちんちんも、ますますおつきくなってえ……♡

もう、我慢できない……！♡

ふーッ、ふーッ……♡

ほら、おばさんに抱き着いて……！♡

そうそう、じょうず……！♡

それじゃ、お望み通り、おばさんのクソ穴で、君の童貞食べちゃうわ……♡

入れた途端に射精しないようせいぜい気を付けることね……！♡

いくわよお……！♡

さあん、にいい……いい、ちっ……ゼロッ！♡

ん、おおッ♡一気に奥まで入ってきたあッ！♡

あてがったみたいにおばさんのケツ穴と君のチンポぴったりはまってえ……ッ♡いいッ  
……！♡

……うふふ♡きちんと射精堪えたのね、偉いわ……♡

おばさんのケツ穴どう？♡ぎゅうぎゅうに締め付けてきて、あたたかくて……すっごく気  
持ちいいでしょ……？♡

でも、本番はこれから、よッ！♡

お、お、ッ！♡お、ッ、お、ッ、お、お～～ッ！♡

釘をッ、打つ、みたいにッ！♡君のチンポ、ケツ穴で、しゃぶりつくしてッ、あげるッ！♡  
ほらあ、どう？♡この動きッ！♡

おばさんのッ、煮詰まった性欲ッ、ぜんぶッ、ぶちまけちゃうからッ……！♡

覚悟、しなさい……ッ！♡

んッ、んッ……！♡お、ッ、お、ッ、お、ッ……んぐうッ……！♡

おっぱい、もッ、腰振るたびにッ、だぶだぶ揺れてえッ……んふふ♡とっても、下品よねえ  
ッ♡

こんな下品なおばさんをッ、今君は、独り占めしてるのッ……！♡

ケツ穴も、おっぱいも、なにもかもぜんぶ君のものッ……！♡

幸せッ、でしょッ……？♡うふふ……♡

はあ、はあ、ああッ……！♡

ん～？♡

もう限界、なのぉ……？♡

いいわよ、おばさんのケツマンコに、全部出しちゃいなさい……♡  
金玉で煮詰まった特濃ザーメンッ、たっぷり注いでッ……！♡  
んッ、お お ～～ッ！♡

(射精)

はあ、はあ……♡いっぱい出たわね……♡  
おばさんの中で震えて、びゅくびゅく精液ぶちまけてるのわかるわ……♡  
んッ、ん……♡ああ……♡あはあ……♡お腹の中があつつい……♡  
おばさんのケツ、そんなに気持ちよかったの……？♡  
……嬉しいわ♡  
で、もお……♡

おばさんはまだまだ全然満足していないわッ！♡  
ほらっ！♡もっと子種ちょうどいいッ！♡ほらほらほらほらほらあッ！♡  
一度出しただけで終わりだなんて、誰が言ったの？♡  
金玉空っぽになるまで徹底的にッ♡  
種搾り杭打ちピストンでっ、君のチンポぶっ壊してあげるッ！♡  
ほらッ、こっち見てッ、おばさんの方見るのッ……！♡  
んぶッ、んちゅっ、れるれるれる……♡  
れろッ、んぢゅっ♡んうつ♡んぶっ♡じゅろろお、ぶちゅるるっ♡んっ♡んっ♡んっ！♡ん  
う～ッ !!♡  
うつまあ……♡  
小さな男の子の唾液、さいっこお……♡  
ほら、君からも舌出してえ……♡んべっ♡ぺろお、べろべろべろっ♡ んふうつ、んうーつ！  
♡  
キスしながらケツハメするのもお、最高でしょお……！？♡  
ほらッ、嬉しいなら君も腰振って、私を悦ばせなさいッ……！♡  
んつ、おおッ♡おおおッ！♡  
上手……！♡そう、そうよお♡おばさんのケツマンコッ、そうやって力任せに強引に犯され  
るの大好きなのおッ♡  
んおおッ、おっほっ♡お ッ、お ッ、お ッ、んほッ♡  
いいッ♡いいわよお♡その調子ッ……！♡  
んつ、んつ、んつ♡んふうつ、んうーつ！♡キスしながらケツ穴ガン突きッ、頭おかしくな  
るくらいッ、気持ちいいッ……！♡  
ほら、キス、もっかいキスするの……ッ♡

んむう、んつ、んっ♡ぶはあつ……♡  
ふふ、ふふふ……！♡また、イキそうなんでしょう？♡いいわ、イケッ！♡  
金玉の精液、全部おばさんのケツ穴に注ぎなさいッ！♡ううんッ、んうう～～ッ！♡

(射精)

ほお、らッ！♡  
なに休んでるのッ！♡まだまだッ、便秘糞出すための浣腸汁足りないわよッ！♡  
チンポ硬くしてッ、もっともっと腰振るのぉッ！♡  
んぐおッ、おっほおッ！♡お“お“おッ、お“お“おッ！♡  
さっきより激しいいッ！♡ああっ、んうッ、うふふふふふふッ！♡  
ケツ穴ほじり上手ッ！♡ケツ交尾じょう、ずうッ！♡あああッ、やばッ！♡これしゅごい  
ッ！♡おおお～～ッ！♡  
このまま、じゃっ、おばさんもっ、イカされちゃう、かもおッ！♡  
んッ、んん……ッ！♡生、意気ッ♡子どものクセにッ、一丁前に腰振って、おばさんを自分  
の女にしようとしてる  
のねえッ……！♡  
おばさんは、絶対負けないんだからあッ！♡んおおッ、ほおッ、お“おおお“～ッ！♡  
ほらあッ、おばさんの本気ピストンッ、どうかしらッ！♡チンポぶっ壊れちゃう快感味わえ  
ッ……！♡  
おばさんのことイかせたいならッ、これぐらいちゃんと耐えて、ガンガン腰振りなさあい  
ッ！♡  
んぎッ、んほおッ！♡ああっ、ああっ♡いい、良いわあッ♡  
歯を食いしばって耐えて、必死の腰振り……♡  
おばさんを、イかせたいって思いッ、伝わって、ぐるッ！♡んおッ、お“おおッ！♡  
んふふ……健気で、かわいいじゃないのお♡

そんなにおばさんのこと、好きなの……？♡  
自分のモノに、したいの……？♡

……うふふ♡  
必死でかわいい告白、受け取っちゃった♡  
こおんなおばさん相手に、本気のプロポーズ♡  
うふ、うふふふふ……！♡

おばさんもねえ、君のことだあい好きよ♡

初めて会った時から、ずっと、ずっとおッ……♥

君は、おばさんの性奴隸で、肉便器で、大好きな男の子なお……♥

だ・か・らあ……お望み通り、君のことは一生かけて、抱きつぶしてあげる……ッ！♥

だからッ、ほらッ！♥

金玉の精液、全部おばさんのケツ穴に注ぎなさいッ！♥ううんッ、んううッ！♥

おばさん、もおッ、一緒に、君と一緒に、イってあげるからあッ……！♥

ほらッ、キス、キスハメっ♥キスしながら、ケツイキするのおッ！♥

んぶちゅっ、ぢゅろれえっ、れるっ♥んむうっ、んう～っ！♥

出してっ♥射精してっ♥キスしたままケツ穴に、ラブラブお射精してえッ♥

ん、ちゅッ、んじゅるるるッ……！♥

お おイグッ♥イグウッ！♥ケツ穴アクメ来るッ♥

イぐッ、イぐイぐイぐッ、イッぐう～～～ッ！！♥

(絶頂 射精)

ん、ぐ、おお……ッ♥あへあ、んつ、んうう……♥

お ……ッ♥

(放尿)

ああっ、ごめん、なさい……うふふ……♥

ケツ穴でいくの、気持ちよすぎて……ああ、おしっこ、とまんなあい……♥

んつ、んん、ちゅッ、んじゅるるるっ……♥

ん、ふふ……長いお射精だったわね♥

本当に金玉空っぽになるまで精液吐き出してくれたのね……♥

えらい、えらい……♥

ん、ぐう……！♥

(腹痛音)

おかげさまで……んおッ、溜まってたウンコ、一気に降りてきてるッ……！♥

んつ、おお……ッ！

(放屁)

うわっ、くっさあ……♡  
熟成されたガスの臭い、臭すぎよお……♡  
でもお……頭くらくらして、とおっても素敵な香り♡  
んおッ、んん……！♡やばッ、ほんとに出ちゃいそう……ツ♡  
チンポの先っちょ……うんこが君のを押し出そうとしてるの、わかるかしらあ……？♡  
あっ、はあ……ツ！♡

(放屁)

オナラも、ぶうぶうひり出して……♡  
はあ、はあ……もう、我慢できないい……！♡  
チンポ押しのけて、ウンコひり出しちゃうッ……！♡  
んッ、おお……ツ、出る、出りゅうう～ッ！♡ああっ、はあッ！♡  
ぶつといウンコがあッ、一気にケツ穴押し広げて出てきちゃうのおッ♡  
んぐっ、んん……ツ♡  
悪い、けどおッ♡君のチンポ、私のウンコで埋めちゃうからッ……♡  
臭い取れなくなっちゃったら、ごめんなさいねえッ……♡  
んっ、おおっ、おおっ……！♡  
出る、出るわあッ！♡ぶつといクソがでるううんっ♡  
んふふふ……♡ちゃあんと、受け止めて、ねえ……ツ♡  
んぐっ、おおっ、おおっ、おおっ、おおお～～～ッ！♡

(脱糞)

おっ、おおお……うんこ、出るうッ……♡  
あ、ああっ♡とまん、ない……ツ♡  
たっぷり熟成された便秘糞、とまんないい……♡  
ケツ穴めくってぶりぶりひり出すの、気持ちい……ツ！♡  
おッ、ぐるぐるッ、脱糞アケメぐるうッ！♡  
さっきいったばっかりなのにッ、うんこひり出してまたイっちゃうのおッ♡  
ん、ぐおッ、おつオ～～～ッ！♡

(脱糞 絶頂)

ンおッ、いくのとまんないッ！♡ウンコとまんないいッ♡

おほッ、おほお～ッ♡

あ` ア～～ッ！♡イグぅッ！♡イぎっぱなしになるのおッ♡

肛門捲れてッ、ぶつといウンコひり出してッ！♡下品な声で叫び散らかすのおッ！♡

うア` あアっ！♡出るッ、出る出る出るッ！♡またぶつといでのイグぅ～～ッ!!♡

お` おお～～～～ッ！！！♡

(脱糞 絶頂)

はあ、はあ……♡すごおい……こんなにたくさん出たの、初めてかもお……♡

うふふ……ほーら見てえ？♡君のチンポにぶちまけられた、特大一本グソお……♡

ああ……♡君の全てを征服しちゃったみたいで、ゾクゾクとまらなあい……♡ん、ぐつ  
……♡

(放屁、射精)

あら♡

うふふ……ウンコに埋められて射精だなんて♡みっともないわねえ……！♡

雄として失格よ♡

でも、そんな射精でも、おばさんはとおっても愛おしくて、大好きよお♡

ん、ちゅ……♡

大好きよ……私のかわいい、肉便器くん……♡

うふふふふ……♡

## エピローグ 『ドスケベ変態マダムと性奴隸のその後』

ああッ、ダメ……ほんとにウンコ、でちゃいそう……早く、トイレに行かないと……ッ♡  
ん、ふふふ……♡

\*

あア～ッ♡出るッ、うんこ出るうッ……！♡  
ふん、……ッ！♡

(脱糞)

んっ、おおッ……♡

(心の声)

……あら？  
うふふ……今日も覗きに来たのねえ……♡  
何日もかわいがってないから、溜まってるのかしら♡  
こっそり扉を開けて、隙間から私のウンコ姿を見つめて必死にシコシコ……♡  
バレてないとでも思ってるのかしら？♡  
かわいいわあ♡すっかり私好みの変態に調教されちゃったみたいね♡  
でも、さすがにかわいそうだから、そろそろ構ってあげようかしら……♡  
(ここまで)

なに、ジロジロ見てるの……？♡  
ほら、こっち来なさい……！ 君も、トイレ入るの……♡  
うふふ……まさか、私がウンコ出してるとこ覗いてチンポ扱くなんて……♡  
そんなに寂しかったの？♡仕方のない子ねえ……♡  
ほら、おいで……♡  
ここはトイレだもの♡  
おばさんのマンコもケツマンコも♡便器として扱って構わないわ♡  
おしっこでもザーメンでも、ちゃあんと受け止めてあげる……♡  
だからほら、おいで……！♡  
おばさん便器で、スッキリしちゃいましょ……♡うふふふ……♡